

Economic Indicators

発表日: 2024年6月14日(金)

主要経済指標予定(2024年6月17日~6月21日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(6月17日~6月21日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
6月17日 (月)	8:50 4月機械受注統計				
	船電除く民需(前月比)	▲2.7%	▲3.0%	▲7.2%~+0.8%	+2.9%
	(前年比)	+0.4%	—	—	+2.7%
6月18日 (火)	13:30 4月商業動態統計・確報				
	小売業販売額(前年比)	—	—	—	+2.4%
6月19日 (水)	8:50 5月貿易統計				
6月20日 (木)	輸出金額(前年比)	+12.5%	+13.0%	+10.1%~+18.0%	+8.3%
	輸入金額(前年比)	+9.5%	+10.5%	+6.5%~+16.4%	+8.3%
	貿易収支(原数値、億円)	▲12,985	▲13,004	▲14,900~▲9,981	▲4,656
6月21日 (金)	8:50 金融政策決定会合議事要旨 (4月25・26日分)				
	14:00 5月コンビニエンスストア統計				
	既存店ベース売上高(前年比)	—	—	—	+0.5%
6月21日 (金)	8:30 5月消費者物価指数(全国)				
	全国総合(前年比)	+2.9%	+2.9%	+2.7%~+2.9%	+2.5%
	全国コア(前年比)	+2.6%	+2.6%	+2.5%~+2.7%	+2.2%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



4月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比▲2.7% 中央値：同▲3.0%

4月の機械受注（船舶電力除く民需）は前月比▲2.7%の減少を予想する。製造業が前月までに大きく増加していた反動減が出ることで、3か月ぶりの減少を見込む。もともと、企業収益の改善等を背景に機械受注の持ち直しは強まっており、均してみれば製造業、非製造業ともに緩やかな増加傾向が続くだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

5月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲12,985億円 中央値：▲13,004億円

5月の貿易収支を▲5,351億の赤字（季節調整値）と予想する。自動車生産の回復も段階的であり、世界的な財需要の減速による下押しを受け、物価変動の影響を除いた実質輸出は弱い動きが続いたとみられる。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

5月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+2.6% 中央値：同+2.6%

CPI コアは前年比+2.6%と、前月の+2.2%から上昇率が拡大すると予想する。エネルギー以外のコアコア部分については鈍化が予想される一方、再生可能エネルギー発電促進賦課金単価が大幅に引き上げられた影響で電気代が大幅に上昇することが押し上げ要因になるだろう。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

